

平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年4月27日

上場会社名 アートsparkホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3663 URL http://www.artspark.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 慎也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊藤 賢 (TEL) 03-6820-9590  
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	1,012	20.4	213	52.0	200	51.1	178	40.3
29年12月期第1四半期	840	△22.4	140	△18.9	133	△18.7	127	△3.7

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 177百万円( 38.5%) 29年12月期第1四半期 128百万円( △5.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	26.31	25.81
29年12月期第1四半期	18.79	18.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	4,017	3,317	82.2
29年12月期	4,024	3,167	78.3

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 3,303百万円 29年12月期 3,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	4.00	4.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,671	△3.0	13	△94.9	3	△98.8	△9	—	△1.32
通期	3,307	△9.0	63	△85.1	42	△89.8	7	△98.1	1.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期1Q	6,795,020株	29年12月期	6,795,020株
② 期末自己株式数	30年12月期1Q	3,280株	29年12月期	3,220株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期1Q	6,791,761株	29年12月期1Q	6,777,569株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、個人消費や設備投資にも増加の動きが見られる等、緩やかな回復基調が続いております。一方、欧米諸国の政治動向への懸念や地政学リスクの高まりによる世界経済の不確実性の影響もあり、依然として景気の先行きは不透明な状況であります。

当社グループは、デジタルによるコンテンツの創作から利用・活用に至るまでの諸活動を、トータルに支援できる環境の提供を経営理念に掲げ、事業を推進しております。

当第1四半期連結累計期間におきましても、引き続きソフトウェアIPを核とした経営に重点を置き、開発リソースの戦略的配置等、経営効率向上に注力しております。

その結果、当社グループの第1四半期連結累計期間の売上高は1,012,234千円（前年同期比20.4%増）、営業利益は213,506千円（前年同期比52.0%増）となりました。

また、経常利益につきましては、支払利息700千円、為替差損10,630千円を計上したこと等により、200,978千円の経常利益（前年同期比51.1%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、税金費用22,275千円を控除したこと等により、178,746千円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同期比40.3%増）となりました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

#### <クリエイターサポート事業>

当第1四半期連結累計期間では、マンガ・イラスト・アニメ制作ソフトウェア「CLIP STUDIO PAINT PRO」が、株式会社ワコムから発売されたペンタブレット「Wacom Intuos」にバンドルされ、全世界へ提供されました。

また、企業や教育機関での大規模な導入に最適な「CLIP STUDIO PAINT EX ボリュームライセンス サブスクリプション版」においては、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、韓国語及び中国語（繁体字）の各言語での提供を開始いたしました。

さらに、マンガやデジタルアート、イラスト制作を教えるヨーロッパ各国のアートスクールの生徒を対象としたマンガ・イラストコンテスト「European Comic Schools Contest」を開催しております。

なお、インターネットを通じて、イラスト、マンガ、アニメ、小説を制作するクリエイターの創作活動をトータルに支援するwebサイト「CLIP STUDIO」においては、平成30年3月末時点の登録者数は113万人となっております。

以上の結果、売上高は678,524千円（前年同期比10.1%増）、営業利益は138,555千円（前年同期比2.4%増）となりました。

#### <UI/UX事業>

UI/UX事業では、自動車（四輪・二輪）関連分野を筆頭に、HMIの基盤であるUIオーサリングソフトウェア群「exbeans UI Conductor」（エクスビーンズユーアイコンダクター）を始めとする自社IP製品の開発に注力しております。

「exbeans UI Conductor」においては、利便性の向上による市場価値を高めるため、各種ハードウェア・ソフトウェアベンダーとの協業、及び共同ソリューションの開発を進めてまいりました。当第1四半期連結累計期間では、アイテック阪急阪神株式会社のECU開発支援ツール「CANTOOL」との連携ソリューションを発表いたしました。

また、東京ビックサイトで開催された、企業向けの自動車次世代技術展「オートモーティブワールド2018」では、今回新設された「第1回自動運転EXPO」に出展し、自社IPソフトウェアの紹介を行い、ビジネス創出を推進いたしました。

なお、2015年8月より大手OEMの車載機器向けサービスソフトウェアに採用されている当社製品は、北米市場を中心とした出荷台数が累計で200万台を突破しております。

以上の結果、売上高は344,424千円（前年同期比39.1%増）、営業利益は52,425千円（前年同期は10,084千円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて6,684千円減少し4,017,430千円となりました。この主な要因は、売掛金が66,066千円、たな卸資産が10,618千円増加した一方で、現金及び預金が39,578千円、ソフトウェアが44,980千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて157,196千円減少し699,448千円となりました。この主な要因は、賞与引当金が42,870千円増加した一方で短期借入金140,000千円、未払法人税等14,060千円、長期借入金13,898千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて150,511千円増加し3,317,982千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が151,578千円増加したこと等によるものであります。  
なお、自己資本比率は、82.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の連結業績予想につきましては、平成30年2月9日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,491,012	2,451,433
売掛金	320,305	386,371
製品	4,884	4,587
仕掛品	5,694	34
原材料及び貯蔵品	15,449	32,024
繰延税金資産	28,903	38,346
その他	133,019	120,784
貸倒引当金	△2,864	△4,822
流動資産合計	2,996,405	3,028,760
固定資産		
有形固定資産		
建物	75,799	76,571
減価償却累計額	△46,604	△47,882
建物(純額)	29,194	28,688
工具、器具及び備品	225,697	232,677
減価償却累計額	△184,684	△188,443
工具、器具及び備品(純額)	41,012	44,234
車両運搬具	3,924	3,924
減価償却累計額	△1,306	△1,524
車両運搬具(純額)	2,617	2,399
リース資産	3,942	3,731
有形固定資産合計	76,767	79,053
無形固定資産		
ソフトウェア	692,368	647,387
ソフトウェア仮勘定	19,125	25,158
その他	30,489	31,344
無形固定資産合計	741,982	703,890
投資その他の資産		
投資有価証券	81,681	80,469
敷金及び保証金	113,777	113,461
その他	13,500	11,794
投資その他の資産合計	208,959	205,725
固定資産合計	1,027,710	988,670
資産合計	4,024,115	4,017,430

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	80,707	67,519
短期借入金	190,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	84,964	76,230
未払法人税等	48,983	34,923
返品調整引当金	540	592
賞与引当金	44,052	86,922
その他	227,154	203,776
流動負債合計	676,402	519,964
固定負債		
長期借入金	18,080	4,182
役員退職慰労引当金	32,880	41,060
退職給付に係る負債	123,068	127,773
リース債務	4,257	4,029
繰延税金負債	1,955	2,438
固定負債合計	180,242	179,484
負債合計	856,644	699,448
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,063,930	1,063,930
資本剰余金	543,057	543,057
利益剰余金	1,545,457	1,697,036
自己株式	△3,085	△3,174
株主資本合計	3,149,359	3,300,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,375	2,439
その他の包括利益累計額合計	3,375	2,439
新株予約権	14,736	14,693
純資産合計	3,167,471	3,317,982
負債純資産合計	4,024,115	4,017,430

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	840,691	1,012,234
売上原価	421,126	497,821
売上総利益	419,565	514,412
返品調整引当金戻入額	1,281	540
返品調整引当金繰入額	1,119	592
差引売上総利益	419,727	514,359
販売費及び一般管理費	279,299	300,852
営業利益	140,427	213,506
営業外収益		
受取利息	26	26
受取配当金	6	6
その他	9	4
営業外収益合計	42	37
営業外費用		
支払利息	1,259	700
為替差損	4,143	10,630
その他	2,029	1,234
営業外費用合計	7,432	12,566
経常利益	133,037	200,978
特別利益		
新株予約権戻入益	—	43
特別利益合計	—	43
税金等調整前四半期純利益	133,037	201,021
法人税等	5,668	22,275
四半期純利益	127,369	178,746
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	127,369	178,746

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	127,369	178,746
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	998	△935
その他の包括利益合計	998	△935
四半期包括利益	128,368	177,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,368	177,810
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	593,082	247,609	840,691	—	840,691
セグメント間の内部売上 高又は振替高	23,001	—	23,001	△23,001	—
計	616,083	247,609	863,693	△23,001	840,691
セグメント利益	135,349	△10,084	125,265	15,162	140,427

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	667,809	344,424	1,012,234	—	1,012,234
セグメント間の内部売上 高又は振替高	10,715	—	10,715	△10,715	—
計	678,524	344,424	1,022,949	△10,715	1,012,234
セグメント利益	138,555	52,425	190,980	22,525	213,506

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。